第45回 内科学の展望

1 2 3 4 5

第45回内科学の展望

General Physicianにとっての呼吸器疾患 ～超高齢社会における現状と課題～

会長 門田 淳一

序 論

第115回日本内科学会講演会会長 河野 修興

Key words 超高齢者, 健康寿命, 呼吸器疾患, general physician

「第45回内科学の展望」は、「General Physician にとっての呼吸器疾患—超高齢社会における現状と課題—」をテーマとし、大分大学の門田淳一教授のお世話により、平成29年11月12日（日）に別府市で開催された。「内科学の展望」を大分県で開催したのは初めてであったが、多数の方にご参加いただき、非常に有益な講演会を開催できたと評価している。

前日の11月11日（土）には、付属イベントとして、市民公開講座「健康長寿 with SMILE◎～笑顔で歳をかさねるために～」が開催された。年々、男女共に寿命の延伸を実現している我が国では、厚生労働省の「健康日本21」において、健康寿命のさらなる延伸を第一の目標に策定している。一方、大分県の健康寿命は、現在、男性16位、女性10位であり、あと一歩で全国トップレベルに突入することが可能な位置にあり、県の健康政策の第一として「健康寿命日本

一を達成すること」を目標としている。そのため、市民公開講座では本テーマが選ばれたものである。3名の専門家がそれぞれ、①認知症予防、②禁煙、③肺炎予防をテーマにした健康寿命延伸を解説した。認知症の講演では、認知症と老化、ボケと物忘れの概念について、専門家ではない市民の方々に対してわかりやすく解説し、日常生活に楽しみを見出しながら笑顔で歳をとることが健康長寿にとって重要であることを強調していたことが特に印象的であった。

「General Physicianにとっての呼吸器疾患—超高齢社会における現状と課題—」では、診療所の第一線で活動している内科医にとって重要で不可欠な呼吸器疾患をいくつか取り上げ、明日からの日常診療において有益なプログラムが組まれていた。構成は、(1) common diseaseとしての呼吸器疾患、(2) 専門医・専門診療施設との診療連携が必要な呼吸器疾患、(3) 最前線

広島都市学園大学 学長

The 45th Scientific Meeting : Perspectives of Internal Medicine : Respiratory diseases to general physician～ the present situation and problems in super-aged society ; 1. Preface.

Nobuaki Kohno : President, Hiroshima Cosmopolitan University, Japan.

本講演は平成29年11月12日（日）別府国際コンベンションセンターにて行われた。

の診療現場において必ずしも高頻度に遭遇する疾患ではないが、診断の遅れが致命的となり得るため、常に鑑別診断の1つとして頭のなかに置いておくべき呼吸器疾患の3部構成であった。

講演者は、いずれもそれぞれの疾患の専門家として我が国を代表する医師であるため、切り口

は非常に明解で、general physicianのみならず、呼吸器専門医にとっても有益な時間であった。

著者のCOI (conflicts of interest) 開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし